令和6年度第3回生涯学習審議会会議録

1 日 時

令和6年10月18日（金）14時 開会

2 場 所

流山市文化会館（中央公民館） 第2会議室

3 議 題

- (1) 第3期流山市教育振興基本計画の策定について
- (2) その他

4 出席委員

土屋委員 宮本委員 滑川委員 谷田委員 山田委員 西岡委員
天農委員 秋山委員 野上委員 若松委員

5 事務局

石川生涯学習部長 寺門生涯学習部次長兼文化芸術・生涯学習課長
小池スポーツ振興課長 佐々木公民館長 伊原図書館長 北澤博物館長
【文化芸術・生涯学習課】
玉ノ井課長補佐 加藤生涯学習係長 島田会計年度任用職員（記録）
【スポーツ振興課】
寺田課長補佐 青木スポーツ施設係長

6 傍聴者 なし

7 会議録

【14時 開会】

（司会）

ただ今より、令和6年度第3回流山市生涯学習審議会を開会いたします。
本日の司会を務めます文化芸術・生涯学習課の加藤と申します。よろしく、
お願いいたします。

初めに、生涯学習部長より御挨拶を申し上げます。

（生涯学習部長）

本日は御多用の中、審議会に御出席いただき誠にありがとうございます。

また、平素より本市の生涯学習の推進には、多大なる御尽力を賜り、心からお礼申し上げます。

本日は、第3期流山市教育振興基本計画の策定について、引き続き、御審議いただきたく存じます。委員の皆様には、多面にわたる御意見を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(司会)

次に、配付資料の確認をお願いいたします。

(1) 次第

(2) 資料「第3期流山市教育振興基本計画(素案)」

よろしいでしょうか。それでは、議事に入ります。

審議会は公開が原則となっております。議事録作成のため、発言等は録音させていただきますので御了承ください。

ここからは、土屋会長に進行をお願いいたします。

(土屋会長)

本日の出席状況を報告します。出席委員は10名、委員数(12名)の半数以上となりますので、「流山市生涯学習審議会条例」第5条第2項に規定する定足数に達しており、会議は成立していることを御報告いたします。

本日の議題は、

(1) 第3期流山市教育振興基本計画の策定について

(2) その他

となっております。

初めに(1)第3期流山市教育振興基本計画の策定について、これまで3回にわたって審議してきた内容を反映した答申案(たたき台)をお配りし、皆様から御意見を賜りたいと思いますが、答申案の前に、前回までの意見が計画の冊子に反映されているか、重点目標ごとに順番に確認します。

36ページ。重点目標1「生涯学習の推進」の目標に「ウェルビーイングを実現し」という文言が入っています。

37ページの(1)多様な生涯学習機会の充実の4行目。「食や防災、健康、人権、国際化、環境」に「デジタル活用」の文言を加筆しようということで、反映されています。

39ページ。重点目標2「青少年の健全育成」の目標に「青少年の参画・活躍する場をつくることで」という文言が加筆されています。また、現状と課題のところ、「青少年を取り巻く社会環境は」で始まっていた文章でしたが、「核

家族の問題や共働き」は計画には相応しくない文言ではないかとの意見があり取り除かれ、「青少年を取り巻く社会環境は刻々と変化しており、青少年の問題行動が見え難くなっています」に修正しようということで、意見が反映されています。

40ページの(2)健全育成事業の充実の5行目。「交流の機会の提供を指します」を「交流の機会を提供し、青少年の参画・活躍する場づくりを指します」に修正しようということで、反映されています。

41ページの(3)社会環境浄化活動の充実の9行目。「気になる青少年には声を掛ける」のところに、「地域ぐるみで」と文言が加筆されています。

43ページの(2)優れた文化芸術に親しめる機会の充実の2行目。「おおたかの森ホール等を拠点にして」で、「等」が加筆されています。

以上、計画の素案に審議会の意見が反映されていることを踏まえて、これを答申にどうまとめるか。答申案を読み上げますので、その後、皆様から御意見を賜りたいと思います。

【答申案読上げ】

流山市教育振興基本計画（第3期）の策定について（答申）

令和6年7月22日付け流教生第127号で諮問のあった流山市教育振興基本計画（第3期）の策定について、流山市生涯学習審議会条例第2条の規定により、次のとおり答申します。

記

本市の生涯学習施策については、今回の審議の中で、現行の本市教育振興基本計画に基づき様々な事業を展開していることを確認しました。

新たな基本計画において、基本的な方向性は大きく変わらないことが分かりましたが、社会環境の変化などを考慮するとこれまでの事業展開だけでは不足すると感じる点や、新たな課題も見えてきました。

そこで、審議の中で出た主な指摘・意見を以下のとおりお伝えしますので、新たな基本計画に反映可能なものは反映し、事業展開においても生かされるよう配慮願います。

- (1) 令和5年3月8日の中央教育審議会生涯学習分科会における議論の中で、ウェルビーイング実現に向けた生涯学習・社会教育の推進として今後の人生100年時代に対応するための生涯学習のあり方がまとめられている。文部科学省のこの方針を受け、本基本計画においても、ウェルビーイング実現に関わる内容を盛り込まれたい。
- (2) 青少年の健全育成に関しては、昨今の社会情勢を反映させ、親子の関わり方や地域での住民相互のコミュニケーション不足、インタ

ーネットの浸透による交友関係の多様化などを鑑み、青少年の問題行動が見えにくくなっていることに留意されたい。

- (3) 社会環境浄化活動については、青少年指導センターの補導員による街頭パトロール等の活動だけでなく、地域ぐるみでの声掛けなどの活動も推進されたい。
- (4) 昨今、感染症の流行に端を発する地域活動の低下やPTAの解体など、地域の連携、教育力が低下し機能しなくなりつつある。地域の教育力が向上するような取り組みを図られたい。
- (5) 公民館では全館にWi-Fiが整備され、図書館でもオーディオブックの充実を掲げているが、整備されたデジタル機器を高齢者等が十分に使えるよう、デジタルデバイスへの支援を考慮し、活用の促進、使いやすい仕掛けなどにも踏み込んでいただきたい。

答申案の内容について、御意見などがございましたら挙手願います。これまでの審議会で結構変更した部分がございます。前回との比較で、ウェルビーイングなどは議論が新しいので確認しやすいのですが、意見が反映されていない部分や文言のニュアンスなど、委員の皆様いかがでしょうか。

(谷田委員)

最終段階で話してよいことか分かりませんが、現計画の36ページ(1)多様な生涯学習機会の充実に、「各種ボランティア養成講座を開催し、ボランティア意識の啓発を図るとともに、ボランティアグループと協働した事業を進めます」とありましたが、今回の計画の中にどういう形で取り込まれているのか見た時に、地域のNPO法人等との連携の中に含まれるとは思ったのですが、公民館の活動に養成講座がありますので、この項目もこれからの学習機会の充実に入れていただけたらと思いました。文章として書き込む、書き込まないは別として、考えとして残していただきたいと思えます。

37ページの「絵本の読み聞かせ」であるとか、目の不自由な方へのボランティア養成講座等の企画がされているなど、読み聞かせ講座も数多く開催されています。「地域のNPO法人等と連携を図ります」に網羅されていると理解しておりますが、担い手をたくさんつくっていくことが必要だと考えておりましたので申し上げました。

(土屋会長)

計画に具体的なプログラムのことは入っているが、ボランティアという文言そのものが抜けていて、担い手育成の視点が薄れてしまったのではないかとの御意見です。答申案は5つにまとめられていますが、担い手については入っていません。

答申案の構造ですが、それぞれの重点目標に対応しているわけではないということであれば、(1)と(2)の間に新しい文章を付け加えることは可能かと思いますが、事務局にお伺いします。担い手育成に関する事業が行われているのはどの事業ですか。

(公民館長)

37ページ(1)多様な生涯学習機会の充実。タイトルにあるように「機会の充実」ということで、「地域のNPO法人等」にボランティア等の関係も含まれます。36ページの目標には「多様なニーズに応えます」との記載もあり、こちらでボランティアに関しては対応していると御理解をお願いします。

(図書館長)

図書館としてはボランティア養成講座を開催しておりますし、各地域で活動されているボランティア団体と連携して事業に取り組んだり、講座への参加を協働で行っておりますので、ボランティアの文言は入っておりませんが、この表記の中でそういったことも飲み込めるものと思っております。

(土屋会長)

谷田委員のおっしゃることは、必ずしもボランティアということではなくて担い手育成をどう考えるか、そこに焦点を当てる文言を入れられないかということだと思います。サービスを受ける学習側からすると機会が与えられてニーズに応じてもらった形になる訳ですが、提供側の意識として担い手へ目配りをしているという視点を入れなくてよいのかどうか、ということかと思います。どこかに入れられる余地はあるのでしょうか。青少年健全育成というところとちょっと違うかもしれませんが、文化の話とか、スポーツの話とかの担い手も含めて、全体の枠組みの中ではどうかということなのですが、いかがでしょうか。

(若松委員)

地域の学習を支える担い手としてのボランティアの育成ですが、おそらく来年あたりに小学校の部活動がなくなって、地域の中での子供たちの活動をどうするのかという問題が出てくると思います。これからの5年間の計画には、ボランティアや地域の学びをサポートする担い手の文言は入れておいた方がよいと思います。

(事務局)

現在、技能や知識を有する地域の人材を講師として登録し、自治会等が講師派遣を希望する際に御活用いただく「人材登録制度」がありますが、コロナ禍以降は派遣依頼がなく、講師の登録者も若干名となっています。計画に掲げる

からには5年間で事業を実施する必要がありますが、担い手を育成する具体的な事業は思い当たらない状況です。

(土屋会長)

基本計画の事業ベースで整理しているのですが、事業がないことには計画に書けないかとは思いますが、審議会として答申に「担い手の育成も視野に入れて計画を進めてほしい」と入れていただいても、問題ないでしょうか。

(事務局)

問題ありません。

(土屋会長)

もう一度整理します。計画には重点目標が1から4まであり、1が大きく仕組み、体制の問題、2が青少年、3が文化芸術、4がスポーツという4つで計画が成り立っていると思いますが、担い手に関することは全般に関わることなので重点目標の1、答申案としては(1)の文脈に入れる、もしくは新たに起こすかどうかですね。(1)に入れる場合、「本基本計画においても、ウェルビーイング実現に関わる内容を盛り込まれたい」のところに、「担い手の育成も視野に入れながら」と入れるかどうかでしょうか。

(滑川委員)

現計画の中にボランティアの養成が書かれていたということは、対応している事業があるのでしょうか、先程、見当たらないとのことでしたが、現行の事業があれば残しようもあるかと思ったのですが。

(谷田委員)

いくつかあると思います。読み聞かせの技術を身に付ける講座は、子どもへの読み聞かせ講座とか、視覚障害者への音読ボランティア講座もあったと思います。

(図書館長)

音読ボランティア講座は障害者支援課でやっているかと。どちらかと言えば、図書館は音声データについては高齢者支援課から提供いただいたものを皆さんに配る、仲介の役目ではあります。

(谷田委員)

何課が担当かではなく、市としてやっているわけですから、史跡ガイドなど、いくつかボランティア養成講座はありますので、現計画にあった文言が、今回

見当たらないのはもったいないと思います。

（若松委員）

答申案（４）の文中に「担い手の育成も視野に入れながら」を入れて、「地域の教育力が向上するような取り組みを図られたい」とするのはどうでしょうか。

（土屋会長）

事務局としては、いかがでしょうか。

（事務局）

重点目標ごとに見ると、「スポーツの振興」にスポーツボランティアの育成等の文言が出てきます。重点目標は「１ 生涯学習の推進」、「２ 青少年の健全育成」、「３ 文化芸術の醸成と歴史の継承」、「４ スポーツの推進」と、それぞれ独立しているので、生涯学習全体の話として入れていただくのがよろしいかと思います。

（土屋会長）

確かにスポーツには入っていますね。答申案がそれぞれの重点目標に対応しているわけではないので、若松委員のおっしゃるように（４）に入れることで問題ないかと思います。

（天農委員）

答申案の（１）が全体のことを指すとしたら、（２）が生涯学習の推進、（３）が青少年、（４）が文化芸術、（５）がスポーツの振興と対応していた方がよいのではないかと思うのですが。

（事務局）

答申案の（１）から（５）の番号は、計画の重点目標１から４に対応しているわけではありません。順番を入れ替えていただいても問題ありません。

（土屋会長）

青少年の健全育成に関することは（２）と（３）ですから、これを一つにまとめると、分かりやすくないでしょうか。それから「留意されたい」で切ると、必ずしも重点目標に対応しない形で要望の項目が成立するかと思います。併せて、順番はこれでよいかと考えるところです。優先度の高い項目として（４）を２番目に持ってきて、担い手の話をに入れていただいてもよいのかと思います。

答申案の具体的な部分は「記」のところで、「この部分も頭に入れておいてく

ださい」と留意事項のような形で（１）から（５）があるわけですから、ここが必ずしも網羅的である必要はないし、重点目標に対応する必要はなく、実際にそうならないのではないのでしょうか。

（天農委員）

それならば、（４）にボランティアの担い手育成についての文言を入れてよいと思います。

（土屋会長）

ありがとうございます。

それでは、順番はこれでよろしいでしょうか。

（宮本委員）

順番については全体の大きなところから、徐々に具体的なことについて書かれているので、この順番でよいと思います。

１点だけ。（４）P T Aの解体のところ、P T Aは任意団体なので、あえて「解体」と書かなくてもよいのではないかと思います。例えば、「保護者団体の加入率の低下」とか、実際に加入率が下がってきて市P連からの脱退も増えてはいますが、解体はきつい言い方かと思います。保護者の皆様もお仕事を抱えていて、やれることはやる、けれどもやれないことはやらないと気概が下がってきているのは確かですが、この文言だけ変えたらよいと思います。

（土屋会長）

「解体」は少々過激な表現であろうということですが、P T Aも保護者団体と書いた方がよいでしょうか。つまり「保護者団体の加入率の低下」とした方が望ましいでしょうか。

（宮本委員）

P T Aはあくまで任意の団体の呼び名で、そうではなく親の会などもありますし、P T Aをつくっていない学校もありますので、あえてP T Aという言葉を入れなくてもよいかと思います。

（若松委員）

P T Aは消してしまってよいのではないのでしょうか。

（宮本委員）

ただ、消してしまうと、家庭の教育力の部分がなくなってしまうか。

「地域の教育力を向上するような取り組みを図られたい」とのことなので、変えなくてもよいとのことならばこのままでも。

(滑川委員)

P T Aという言葉は学校だと分かりますが、保護者の団体だとすると学校が抜けてしまう気がします。ここで審議しているのは生涯学習の話で、P T Aは学校教育の話で、もしかしたら生涯学習とは違うのかなと。生涯学習に関する内容ならば、P T Aという言葉は取ってしまってもよいのではないのでしょうか。

(若松委員)

社会教育・生涯学習では、学校教育と社会教育の連携は重要課題の一つであり、それがコロナによって低下したのは事実です。P T Aの解体は抜くとして、「機能しなくなりつつある」もきつい言い方だと思います。「感染症の流行に端を発する地域活動」の後、家庭・学校・地域の協働もしくは連携でもよいのですが、その後に「担い手を視野に入れながら、地域の教育力が向上するような取り組みを図られたい」とするのはどうでしょうか。

家庭と学校と地域の協働・連携は昔から言われていたことで、3者の連携が入れば、課題の各所連携も入れられますし、家庭教育の部分も入るし、地域で協働していかなければならないということも、読み込めるのではないかと思った次第です。

(土屋会長)

「機能しなくなりつつある」という表現は強いとのことですので、「容易ではない」とか「低下しつつある」とすることでどうでしょうか。

(秋山委員)

26ページ。学校教育部の「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」の目標に「学校・家庭・地域が連携・協働することにより、地域全体で子どもたちを育む環境づくりを推進します」とあります。これを持ってきて、更に「担い手」という言葉を入れたらどうでしょうか。

(土屋会長)

なるほど。それでは、「昨今、感染症の流行に端を発する地域活動や、学校・家庭・地域の連携・協働が低下しつつある。担い手の育成も視野に入れながら、地域の教育力が向上するような取り組みを図られたい」でどうでしょうか。

(滑川委員)

よろしいと思います。

(土屋会長)

順番に関しては、これでよいとの御意見がありました。いかがでしょうか。

(若松委員)

答申案の(4)を(1)の次に持ってきてよいのではないかと思います。

ウェルビーイングの実現のため、地域の課題の中で担い手を育成していきましようということで、(4)を(2)に上げるというのはどうでしょうか。

(土屋会長)

順番はそういうことでよろしいでしょうか。委員の皆様からの御意見は整理できたかと思しますので、答申案の内容を修正し、教育委員会に答申したいと思えます。なお、提出については御一任いただいてよろしいでしょうか。

【一同、賛成】

(土屋会長)

ありがとうございました。

(事務局)

委員の皆様には本日を含め4回にわたり、流山市教育振興基本計画(第3期)の策定について御審議いただき、誠にありがとうございました。

(土屋会長)

次に(2)その他について、事務局から何かございますか。

(事務局)

新たに御審議いただきたい事項が2件ございます。本日は概要を説明させていただき、次回(11月開催予定)の審議会で諮問させていただきたいと考えております。1件目は次回の審議会で、2件目は来年1月開催予定の審議会でそれぞれ答申をいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

1件目ですが、今年度中に生涯学習センター体育館及びコミュニティプラザ体育室にエアコンを設置します。このことに伴い、令和7年度以降の夏季エアコン利用料金の徴収について御審議いただきたく存じます。

【参考資料配布】

(生涯学習部次長)

生涯学習センター体育館及びコミュニティプラザ体育室におけるエアコン設置に伴う、冷房利用料金の徴収について御説明いたします。

生涯学習センター体育館とコミュニティプラザ体育室は、避難所としての快適性や夏季の熱中症対策として、今年度中にエアコンが設置され、来年度から夏季におけるエアコンの使用が可能となります。

受益者負担の観点から、使用者には当該エアコンに係る経費の一部を御負担いただくことを想定しておりますが、その可否及び料金設定について、次回、諮問させていただく予定です。

両施設に設置される設備は同じもので、エアコンの稼働で予想される光熱費については、体育館全面分に付き1時間当たり約1,320円です。

両施設は生涯学習に関わる公共施設であることから、100パーセントの受益者負担ではなく、現在キッコーマンアリーナで適用している受益者負担率50パーセントを適用することを想定しており、その場合の全面1時間当たりの金額は約660円となります。以上です。

(土屋会長)

これまでも審議会では施設の利用料金について審議していますが、体育施設や文化施設など、使用者の負担率は50パーセントぐらいだったでしょうか。

(生涯学習部次長)

キッコーマンアリーナの冷暖房設備の利用料で適用しております受益者負担率は50パーセントで、同じ負担率にしています。

(スポーツ振興課長)

テニスコートにつきましては受益者負担率100パーセントですが、今回の生涯学習センター体育館及びコミュニティプラザ体育室につきましては、キッコーマンアリーナ冷暖房設備の利用料と同様の受益者負担率50パーセントとしています。

(西岡委員)

エアコンがあれば便利ですが、料金を徴収するとなると使用者から何か言われますよね。会議室等で使っている光熱費は、どうなっているのでしょうか。空調費はとっているのですか。

(生涯学習部長)

会議室等の空調費につきましては、別額ではとっていません。とっているのは、キッコーマンアリーナの「メインアリーナ」及び「サブアリーナ」です。こちらは面積が広く、会議室等と比べて空調費用がかかるといふことで、使用

者に一部費用負担を求めています。

(西岡委員)

言われるとおり、面積によって賄う光熱費が高くなる。それを案分化と言いますか割り振るのは構わないと思いますが、コミュニティプラザ体育室も生涯学習センター体育館もキックマン アリーナに比べれば、そんなに広くないです。この施設だけ料金をとることに疑問が生じます。

(生涯学習部長)

キックマン アリーナ「サブアリーナ」の類似施設ということで、費用負担を求める考えです。

(西岡委員)

体育館に限らず、今後はホール等もそうになっていくということですか。

(生涯学習部長)

エアコンを設置する体育施設は、生涯学習センター体育館とコミュニティプラザ体育室で最後になります。この2施設について、別立てで料金徴収を考えております。

(西岡委員)

体育施設も会議室と同様に、案分した中で予算化していただければ値上げせずに済むと思いますが。

(秋山委員)

エアコンは冷房だけですか。暖房も入るのでしょうか。

(生涯学習部長)

機能的には暖房も使用可能となっておりますが、夏季の冷房使用のみの稼働を考えております。

(土屋会長)

夏に冷房として使うとお金を払う必要があり、冬の暖房には使用料金がかからないということですね。

(生涯学習部長)

2施設は避難所に指定されています。冬場に避難所として開設された場合は暖房の稼働も考えられますが、通常の使用では想定しておりません。あくまで

夏季の熱中症対策としての冷房使用になります。

(土屋会長)

冷房利用料金の徴収は、例えば6月から9月までなど日付ですか、それとも申告で決まるのですか。

(生涯学習部長)

その日の気温にもよりますので、予約の段階で判断していただくのではなく当日、使用者に稼働させるか判断していただくことを想定しております。

(土屋会長)

使う時に別料金が発生する旨の説明があるのですか。

(生涯学習部長)

来年3月議会に冷房利用料金を定めた条例改正の議案を提出したいと考えています。その後、施設使用者に周知の上、使用者が冷房を使うか、使わないかの選択に基づいて徴収いたします。

(谷田委員)

冷房を入れたくない団体は、料金が発生しないということですか。

(生涯学習部長)

バドミントンや卓球など、競技に支障があるので冷房は使わないと判断される場合があるかと思います。あくまで使用者の判断となりますが、熱中症警報が出た時はその限りではありません。

(土屋会長)

料金を払いたくないから冷房をつけずに熱中症で倒れたとしたら、その責任の所在はどこにあるのでしょうか。施設の判断で稼働することはないのでしょうか。

(生涯学習部長)

今夏はエアコンが設置されていませんでしたので、警報が出た場合は使用を控えていただくようアナウンスしました。具体的な運営はこれから決めていくこととなりますが、利用制限が生じる場合もあると思います。

(秋山委員)

青少年相談員で生涯学習センターを真冬に使っているのですが、すごく寒い

です。学校でも暖房が入っているのに、入っていないのかと参加者の保護者から問い合わせがありました。冬場の暖房使用は考えていないのですか。

(宮本委員)

学校でも暖房は使っていません。

小・中学校の体育館を貸し出しする際、エアコンの利用料金は1時間当たりどのくらいかかっているのですか。

(生涯学習部長)

学校によって様ではないため、消費量を換算して、目的外使用ですので、実費額をお支払いいただいています。

(若松委員)

体育館の熱中症対策として、夏季に冷房を入れるコンセプトは理解できるのですが、今の時代はどこも暑くて、公民館でも夏季の電気量が高くなっているため、本来であれば全体的に夏季料金を設定し、全館料金を上乗せした方が自然だと思います。東部公民館では、大会議室で卓球をする団体があるのですが、体育館は別料金を取られるけれど、公民館では取られないという考え方も出そうだと思います。全体の値上げとなると、いろいろ検討しなければならないと思うのですが。

(公民館長)

3年に1度、公共施設使用料の見直しがあり、昨年もやっております。光熱費が高騰していて、働き方改革によって人件費も上がっていますが、流山市は人口21万人いますけれども、今年につきましては実は独断で、類似する全国市町村の公民館の審議会本部のお金を比較検討しました。今のところは担当として妥当だと考えです。

(土屋会長)

サブアリーナ程度の広さなので、同じ対応をするとのことですが、審議会の答申として我々としては、西岡委員の御質問にもありましたが、同規模の施設について今後も基本想定にするのか、知りたいところです。今回だけ認めましたというわけにはいかないかと思うのですが、同じ想定の前例とはならないのですか。

(生涯学習部長)

今回は、冷房設備を後付けした体育施設の料金徴収です。新設の施設を造る予定はありませんが、同規模の建物であった場合は、これをベースにしていく

ことになろうかと思います。

(若松委員)

例えば、エアコンを設置する時に更に整備を追加して、少しずつ料金を上げていく方法は取れないのですか。夏だけとせず、1年間で案分し、施設全体の環境が良くなったと見なして、全体的に広く浅く少しずつ高くなっている見立てにできるならば、逆にその方がよいのではないのでしょうか。

(事務局)

料金設定や改定には条例改正が必要であり、少しずつ料金を上げる場合にはその都度、条例改正をすることになります。なぜ、年々料金が高くなるのか、理由の説明が難しいのではないかと考えます。

(西岡委員)

急激な値上げは、使用者も大変なので考えていただきたい。「会議室等とはとられないのに、この施設だけとられるなら使わない」という人が出かねないです。キッコーマンアリーナはセントラル空調で、開けっ放しにすれば涼しくなる。でも、この2施設は経年劣化が激しく真冬は寒いのが現状です。空調を整えていただいたので、冬季もプランに入れて年間にならせば少し安くなるかと思うのですが。

(事務局)

体育館は複数人で使用することが多いと思います。一人当たりの金額で考えた場合の金額としては、いかがでしょうか。

(西岡委員)

運動やスポーツを行う企画をした時、一人頭いくらの計算はしません。必要なのは値段そのものに妥当性があるかどうか。施設使用の値段が上がったから使用時間を短くするとか、プログラムの損失があるかどうかです。

テニスコートは照明を使うわけですから受益者負担で文句は出ないはずですが、使う人があまりにも多いので光熱費が高くなるのは理解できるのですが、案分して無料にできない理由が分かりません。

(滑川委員)

一つの考え方として聞いていただきたいのですが、私は、元理科の教員で、エネルギー問題については世界的に考えなければならぬと思っております。年々気温が上昇してエネルギーが非常に使われており、災害時は省エネが叫ばれますが、今はどこも付けっ放しで、以前、学校の体育館はLED化されてい

なくて、授業がない時も付けっ放しで電気代が上がっています。学校の電気代の基本料は、年間で最も使った月の金額が基本になりますので、9月頃の電気代を抑えないといけないと教職員に話したら、去年1か月で150万円だったものが、今年は127万円、15パーセント削減されました。

コスト意識は全ての人を持つべき時代になってきているので、一部では省エネ意識を持ちながらエネルギーの削減に取り組み、熱中症の対策のためなど、使うべきところには使っていかなければなりませんから、省エネ意識をベースに持った上で使用していく必要があると思います。

エコロジ的に進化していかなければならない時代ですから、審議会として、単なる値上げとの考えではなく、利用料は案分がよいのか、使う時だけ付けてその分を払うほうがよいのかの議論が必要かと思いますが、全体としてどういう形でも使う部分を使用者に負担してもらうことは理解いただけると思います。

(土屋会長)

審議会として責任を問われるので、慎重に議論し、額面660円の妥当性について、いろいろな場合を想定し、資料を出していただき、その資料を基に審議会としての判断ができるようにしたいと思います。

(秋山委員)

体育館を1時間だけ借りる人はいないので、平均で何時間か出していただく、一団体にいくら払うか分かるのではないですか。

(土屋会長)

予約状況から割り出せますか。

(山田委員)

今回の2施設だけとるとのことですが、市内の他の体育施設は使用していてもお金はとられないのですか。学校の体育館はどのようなのですか。

(生涯学習部長)

キッコーマンアリーナの「メインアリーナ」、「サブアリーナ」は、この考え方と同じように施設利用料とは別に冷暖房設備利用料を設定しております。

(スポーツ振興課長)

学校の体育館につきましては、照明や空調代は実費(100パーセント)を負担していただいております。

(事務局)

学校の体育館のエアコン設備は、スポーツ振興課の窓口で販売しているカードを挿して使用します。

(滑川委員)

聞いた話ですが、授業等でも料金は払っていませんが、学校用のカードを挿して使っています。メーターもあり、コスト意識が育ちます。機械の仕組みでカードが挿さっていないと動かないです。

(スポーツ振興課長)

市内の小・中学校の体育館は冷房設備を設置しましたが、各学校にカードを配付しましたので、それを挿して使います。何時間使ったか記録が残ります。

(若松委員)

各学校の体育館の規模で基本料が違うので、値段が違っているということですよ。

(土屋会長)

そのあたりの地域格差の問題も視野に入れる必要がありますので、学校によって違う値段の一覧を資料で出してください。

(天農委員)

資料のグラフや表から、どう光熱費の算出されたのか全く理解できないです。コミュニティプラザの体育室は、全面、2分の1、6分の1など、利用面積によって使用料が変わるのは分かるのですが、冷房利用料は小さな利用面積でも同額を払うのかどうなのか疑問です。

(滑川委員)

2団体が2分の1ずつ使用するケースがあるということですよ。その場合の冷房利用料金660円は、それぞれの団体にかかるのか、半額ずつなのか、どうなっているのですか。

(生涯学習部長)

半面を使用する場合、冷房利用料金は2分の1で想定しております。

先ほど、秋山委員から利用実態の話もありましたが、生涯学習センター体育館は午前・午後・夜間・全日といった区切りで貸し出しておりますので、その場合の金額を表にしてお示しします。

(天農委員)

冷やすのは全体だけど、料金は半額でよいということですか。

(事務局)

全面使用であれば問題ないのですが、複数の使用者がいる場合、一方は冷房を使いたい、一方は使いたくないケースも考えられます。

(若松委員)

コミュニティプラザを使用しているので利用実態は分かっているのですが、例えば、3団体で使う時に6分の1しか使わなければ110円で、他に利用がない場合は660円とか、利用者への説明が難しいと思います。

(土屋会長)

想定される利用状況に即した実費計算資料が必要ですね。光熱費の算出根拠は私も分からないので、もう少し資料を付けていただければと思います。

(秋山委員)

キックマンアリーナは大きいので、冷やすのにコストがかかるので別で上乗せは分かるのですが、今回の2施設はそんなに大きくはないので、素人的な考えとしては、1年間分のエアコン利用料金を案分して、全体の利用料金を値上げする方がよいと思うのですが、その方が難しいのでしょうか。

(事務局)

生涯学習センターの体育館は、コミュニティプラザの体育室と利用形態が違います。また、体育館を冷やすには時間が必要なので、使用時間の前から冷房を入れることになりますが、その費用はどうするのか。更に減免措置はどうするかなど調整することが多く、難しいと考えます。

(土屋会長)

事前に冷房をつける費用は誰が払うのかとの話になるのであれば、エアコンの利用料金を年間での考えはできないのでしょうか。

エアコン料金を施設使用料に転嫁するか否かの話になると、全面的な条例の改正になるわけですが、施設の基本的な利用料金自体は変えないという前提で、エアコンを新規に設置したので使った人だけがその分を払うのか、それとも使用分の費用を年間にならすかといったことは、受益者負担の議論としてあり得ると思いますし、審議会としても検討したいところです。

(谷田委員)

実際に当日、生涯学習センターで施設利用料金と併せて冷房利用料金を先に

支払ったとして、冷房を使わなかった場合は返金してもらえるのでしょうか。または、使用した後に支払うのか、指定管理者が冷房使用の有無を確認しないと確定しないのかなどの問題も出てくると思います。

(生涯学習部長)

運用についてはいろいろなことが想定されますので、実際に協議していきませんが、操作は指定管理者が行い、使用者は操作しないということで、今の話はクリアできると思います。また、お気づきの点がございましたら、聞いていただければと思います。

(滑川委員)

テニスコートの時と違って、今回は避難所としてエアコン設備を付けるから、電気代だけを徴収するということですね。

(生涯学習部長)

そういうことです。

(若松委員)

今回、審議時間が短いのであれば、次回の会議までに委員の皆様からメールで個別に御意見を出していただくようにした方がよいと思います。

(事務局)

資料を作成して事前にお送りさせていただきます。

(土屋会長)

1 団体が平均何時間使うのかといった利用状況、学校開放による体育館の学校別空調利用料金表、また、想定される運用パターン等が分かると議論がしやすいと思います。光熱費の算出根拠も分かりやすく示していただきたいと思います。

ほかにも必要な資料があれば、事務局までメールでご依頼いただいて、資料にまとめていただくということをお願いいたします。次回は諮問を受け、併せて答申をまとめたいと思います。もう1件、事務局から説明をお願いいたします。

(スポーツ振興課長)

流山スポーツフィールドA面の人工芝化事業について御説明いたします。

流山スポーツフィールドは、平成30年4月にオープンし、市民に親しまれ気軽に地域でスポーツを楽しめる施設として、サッカーや野球、ソフトボール、

グラウンドゴルフ等で年間3万2千人に利用されています。

施設整備の計画段階から、3面のうち1面については「未来を担う子ども達のために全天候型の人工芝サッカー場整備を」との要望を議会や利用団体等から受けており、実現に向け事業費の確保を進めてきました。令和2年度から募っていた寄附金額の状況を踏まえ、工事費の確保ができたことからA面に人工芝を導入することとしました。

本市では、人工芝化に伴い、有料化を前提として、今月開催の指定管理者選定委員会において指定管理制度導入の方向性を決定し、令和8年4月の供用開始に向けた準備を進めていることです。利用料金については、これまで利用者アンケートを実施したほか、今後開催する関係団体等との意見交換会を参考に決定していく予定ですが、併せて生涯学習審議会においても御審議いただきたく、よろしく願いいたします。簡単ですが、以上で説明を終わります。

(土屋会長)

ただ今、説明がございました。御質問や御意見などがございましたらお願いいたします。

(西岡委員)

全天候型人工芝サッカー場ということですが、サッカー以外は使用できないということですか。

(スポーツ振興課長)

A面はサッカー用のグラウンドになります。

(西岡委員)

一般企業の使用に制限をかけていたと思いますが、今後は制限なしに貸し出すということよろしいでしょうか。

(スポーツ振興課長)

営利目的の使用については別の話で、今までと同じように広く市民に使っていただくとうことで、変更はありません。

(西岡委員)

市民のため、サッカーをやりたい人のために開放する。そのための有料だとうたわれているのか、そこが重要です。なし崩しのルールを作ったら、すぐそうなってしまう。

(スポーツ振興課長)

使用のルールについては、変更の予定はございません。

(秋山委員)

今回、審議会で議論するのは利用料金の設定ということでよろしいですか。現状の流山スポーツフィールドの料金分かる資料がほしいです。

(スポーツ振興課長)

現在、流山スポーツフィールドは無料です。

(土屋会長)

「未来を担う子ども達」とおっしゃいましたが、子どもに限って貸すのですか。実際には、子どもだけでは借りられないし、教室では借りられないとか、運用上はどうでしょうか。

(スポーツ振興課長)

利用について、大人の団体を排除するわけではない、広くスポーツ団体に使っていただく、子どもだけに限定するものではありません。

(土屋会長)

例えば、子どもの割合も特に決めないのですか。

(スポーツ振興課長)

子どもが多く利用する場合には、料金減免など他の体育施設と同様、設定を考えております。

(土屋会長)

例えば、子ども用に月のうち30パーセント枠を確保するとか、他の施設でもないのでしょうか、そういったことはやらないのですか。

(スポーツ振興課長)

子どもの予約枠を設けることはやっておりませんし、想定もございません。

(秋山委員)

無料とのもあるのか、なかなか予約が取れないと西岡委員から伺ったのですが、倍率はどのくらいですか。

(西岡委員)

全く予約が取れないということではないですが、年間の利用予定は組み難い

状況です。

(生涯学習部長)

それも、次回資料としてお示しします。

(谷田委員)

事業費の目標金額が達成されたということは、工事にかかるお金は確保してあるということですよ。今度は利用料金を取って、集めたお金でどういったことをするのか分かりません。例えば、人工芝修復をするのか、夜間照明を付けるのか、トイレなどの不足設備の整備を行うのか、そういったことは事業費に確保されているということですよ。料金の説明を資料でいただけたらと思います。

(スポーツ振興課長)

有料化する料金の根拠は、施設が完成したことによる使用で、人工芝は摩耗し10年後には張り替えなければなりませんので、その際の費用を算出して御負担いただく。それを基にした料金設定の考えです。

(生涯学習部長)

基金について補足しますと、令和2年度から基金を募集していたのですが、一括で5億円という多額の寄附により、前倒しする形で建設費の目途は立っております。今後のかかる費用について、芝の劣化により費用がかかってまいりますので、それについても活用していくことになると思います。

(土屋会長)

ラグビー場は作らないのですか。サッカー場にポールを立てるというようなことは考えていらっしゃらないのでしょうか。

(スポーツ振興課長)

はい。ございません。

(西岡委員)

料金については資料がないので、次回議論するということですね。

(生涯学習部長)

想定金額がありますが、今後、利用関係団体アンケートや意見交換会で最終的な金額は決定していきます。

(土屋会長)

近隣の関連施設の料金、基金や事業予算全体がどうなのか、その中でのインシヤルコスト、ランニングコストを踏まえて、この審議会で検討していく上での資料をいただきたいと思います。そうでないと、利用者の負担の程度が妥当かの判断ができないのでお願いいたします。

(若松委員)

テニスコートと同じように、現在のスポーツフィールドの利用団体に企業が使うことはあるのですか。

(西岡委員)

個人利用があるし、チーム名とか。今後は料金が絡んでくるので、個人ではなくチームで来ると思います。その時、取捨選択をするのかどうなのかを私は最初に聞いたのです。市外も広く参加させるのか、市の判断になるのか、指定管理者の責任になるのか。

(スポーツ振興課長)

利用については、登録団体ということで、営利目的の登録は受けてはおりません。また、調査も進めております。新たな利用料金につきましては、市民の方を中心とすることはもちろん、子どもが多く利用する場合の減免や市外利用への割増設定を考えております。

(土屋会長)

こちらの案件も時間がないとのことなので、積極的に委員の皆様から事務局へ御意見いただき、委員全体に共有できるよう返していただくのが重要かと思っております。

スポーツフィールドの人工芝化につきましても、先程のエアコン利用料金と同様、次回諮問書をいただくとのことですので、各担当課は、次回の審議会上に正式な資料として提出いただければと思います。

他に、事務局から何かございますか。

(事務局)

次回、第4回審議会は11月29日(金)に開催いたします。先程も御説明させていただきましたように、生涯学習センター体育館及びコミュニティプラザ体育室のエアコン設置に伴う夏季のエアコン利用料金の設定について、流山スポーツフィールドA面人工芝化について、諮問させていただく予定です。

開催通知は後日、会長名で郵送いたします。皆様、お忙しい時期とは存じますが、御出席いただきますようお願い申し上げます。

(土屋会長)

それでは、以上で議事を終了します。

皆様には議事進行に御協力いただきまして、ありがとうございました。

(司会)

土屋会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第3回生涯学習審議会を終了いたします。

【閉会 16時50分】